

平成 23 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 相模ハム株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 松本 信  
 (JASDAQ・コード2289)  
 問合せ先 取締役副社長 鹿嶋 健夫  
 電話 045-479-0070

特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績との差異等に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 3 月期第 4 四半期において、東日本大震災関連損失を特別損失に計上いたしましたので、下記の通りお知らせします。

また、これに伴い平成 22 年 5 月 13 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の業績予想と、実績におきまして差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

東日本大震災により当社白河工場で被害を受けた設備の撤去・修復費用、棚卸資産の滅失損失、操業再開に向けた復旧費用などを見積もった結果、平成 23 年 3 月期において 131 百万円を特別損失に計上しました。

2. 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異  
 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 損 失
前回予想 (A)	6,400	55	40	10	円 銭 0.51
今回修正 (B)	5,241	△72	△80	△237	△12.23
増減額 (B－A)	△1,159	△127	△120	△247	—
増 減 率	△18.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	8,140	△46	△80	△558	△31.23

3. 差異の生じた理由

売上高につきまして、加工品（ハム、ソーセージ群）では、当社主力商品の販売強化に努めてまいりましたが、消費者の節約志向もあり、中元、歳暮が振るわなかったこともあり、また、加工肉（牛、豚肉など）では低収益取引の見直しもあり、減少いたしました。加えて、東日本大震災の影響もあり、前回予想を下回る結果となりました。

以上の結果、物流改革などによる費用の低減に努めて参りましたが、営業利益、経常利益においても、前回予想を下回る結果となり、当期純利益では、上記 1. 特別損失の計上に記載の通り、特別損失を計上したこともあり、前回予想を下回る結果となりました。

以 上